

穂高つむじ

AM8時の詩

さむがりの人のつける朝のストーブ
たくさんの人をきれいにした手
冬の鏡には
ちいさい透明の箱から
とり出す青とバラ色

祈り

遠いときから引き継いだ太陽の一片は
生きるための日々の糧
後悔や不本意も照らし出す世界に
粗い一点が跳ねて躍り出る
燃え移りやすく 絶やさぬよう 灯しておく